

# 在校生父母も校歌を熱唱



平成二一年度早稲田大学校友会鹿児島県支部総会ならびに早稲田大学地域フォーラム講演会が、昨年七月二五日鹿児島サンロイヤルホテルで開催された。

## 平成21年度校友会 県支部総会



発行  
早稲田大学校友会  
鹿児島県支部  
住所  
鹿児島市平之町8-13  
平田橋ビル2F  
☎099-223-8388



会には、紙屋敦之文学芸術院教授（早稲田中学校・高等学校校長）他大学関係者をはじめ、約七十人の校友・在校生父母らが参加した。午後三時半から開かれた総会では、会の冒頭平成二十年、二十一年と相次いで亡くなられた、故堅山博美前支部長、故松元茂元支部長に対し、全員が黙祷を捧げた後議事に入り、平成二十一年度事業報告、決算報告などの議題が、いずれも満場一致で承認された。

引き続いて行われた懇親会では、(株)ゼノクロス社長の森祐介さん（S六一年法学部卒）が軽快な語りで司会を務める中、早稲田が

最後に、佐賀県唐津市に二二年四月開校の早稲田佐賀中学校・高等学校について、大西佐賀学園事務局長より、学校の紹介と協力の呼びかけが行われ閉会した。

則 部長以下新役員全員が紹介され、事務局から支部運営への協力が呼びかけられた。

勝利した川内レガッタの報告や、早稲田グッズの販売も行われた。その後新入会員の紹介など、なごやかに会は進み、締めくくりは、西園靖彦氏（S四一年商学部卒）指揮による、校歌「都の西北」を、父母も加わり全員輪になって斉唱し、総会は無事終了した。





# 伝統の一戦に 薩摩川内が燃えた

## 第一八回川内レガッタ〜早慶現役対抗エイト戦

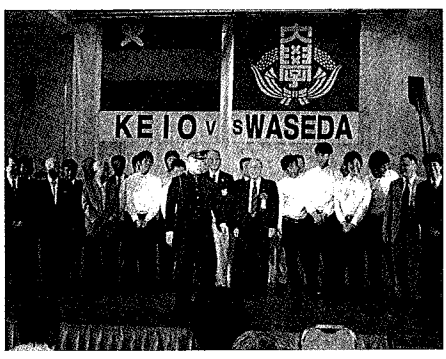
第一八回川内レガッタが昨年七月五日(日)に開催された。平成五年の第二回大会から四年毎に行われる早慶現役対抗エイト戦は、川内で今回が五度目となり、まだ一度も現役に勝利がない早稲田側は、密かに作戦を練っていた。

大会前日の夕方前夜祭がホテル太陽パレスにて開かれ、早慶両校の校旗の下、選手団が入場し、川

内レガッタ関係者、両校OBを含めて盛大な歓迎会となった。今まで一度も川内の地で勝利の美酒と縁のない早大現役選手の宴会席に、漕艇部OBの増田、宍倉両氏を派遣し、絶対に今夜は酒を飲まないように指導していただいた。美味しい料理を前に美味しい酒を飲めないのは非常に辛いことだが、明日の勝利のため現役エイトには我慢してもらった。その代わり、わが社が栽培する種子島のマンガーをたっぷり賞味いただいた。もちろんライバル慶応側にもマンガーは振舞った。ついでお酒もたっぷり。

さて、大会当日梅雨の曇り空の下、早大の作戦は如何にであるか。先輩方の想いが通じたのかスタート直後より早大のリード。その後ゴールまで差をますます広げ五艇身以上の差で、川内の地で初勝利を挙げることができた。やった！やった！五回目にして初勝利。対戦後の懇親会も早稲田優勢で大いに盛り上がった。

一方現役エイトの前に行われたOB対抗戦はいつものく、ス



タート地点に並ぶのに苦労しながらのレースだったが、増田、宍倉両OBの指導の下、早大が五連勝を飾った。今回の企画に尽力された薩摩川内市の方々、濱田先輩、

# 抽選会で大いに盛り上がる 平成22年度県支部新年会

早慶懇親会に代わり今年からスタートした校友会鹿児島県支部新年会が、一月二三日ホテルレクストン鹿児島で開催された。

会には五十名を超える校友が参加し、米盛建設社長の米盛庄一郎事務局長が司会を務め、冒頭挨拶に立った川畑孝則支部長より、故松元茂さん、故堅山博美さんのご遺族からの寄付金をもとに作られた、校友会支部の新しい旗が披露された。

荒木さんをはじめ早慶両校関係者の方々にあらためて謝意を表し、今後のこの大会のご盛会をお祈りします。

最後に前夜祭で酒を飲み損ねた選手は如何に。さすが早稲田、先輩方が差し入れた焼酎と栄養費で大いに勝利の美酒に酔ったとお礼状が届いた。

報告〓事務局長 米盛庄一郎  
米盛建設(株)社長  
(S五六年理工学部卒)

続いて官川秀樹副支部長の乾杯で懇親会に移り、各校友の自己紹介、近況報告と和やかに進むなか会の目玉であるお楽しみ抽選会では、多数の豪華景品に会場が大いに盛り上がった。景品をご提供くださった皆様には深く感謝いたします。

最後は、全員で校歌「都の西北」を斉唱し、十五代沈壽官副支部長の本締めで無事幕を閉じた。

報告〓常任幹事 辛島史朗  
南日本新聞社(S五五年法学部卒)

